



提供:礼文町

レブンアツモリソウってこんな花

- 【学名】 *Cypripedium macranthos* var. *rebunense*
ラン科 アツモリソウ属
- 礼文島で最初に見つけたので学名に“rebun”という文字が入っています。
- 成長がとてゆっくりで種子から花が咲くまで6～10年もかかります。
20年以上も生きる長生きの植物です。
- 5月下旬から6月上旬に淡黄色の大きく優美な花を咲かせます。

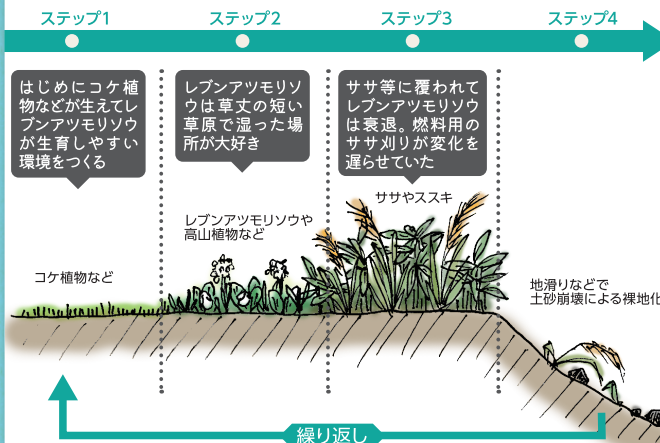
レブンアツモリソウの歴史

- 1932(S7) レブンアツモリソウがアツモリソウの変種として発表される。
- 1970頃～ 山野草ブームにより盗掘が目立ち始める。
- 1983(S58) 鉄府地区に有刺鉄線の柵と監視小屋を設置
- 1986(S61) 礼文町が高山植物培養センターを設置
- 1988(S63) 礼文町が鉄府地区で夜間の監視活動も開始
- 1992(H4) 林野庁が鉄府地区の国有林を保護林に指定
- 1994(H6) 種の保存法により特定第一種国内希少野生動植物種に指定
- 1996(H8) 環境庁と農林水産省(林野庁)が保護増殖事業計画を策定
- 2012(H24) 環境省が鉄府保護区においてササの刈払い試験を開始
- 2013(H25) 森林総合研究所を中心とした研究者チームが
保全と共生に関する調査結果を報告
- 2015(H27) 盗掘跡を2箇所確認 (以降、盗掘確認数は0)
- 2016(H28) レブンアツモリソウ保護増殖ロードマップを策定
(開花数約3,000を確認)
- 2021(R3) 島内調査により開花数約5,400を確認



レブンアツモリソウをとりまく環境の変化

かつての礼文島の植生遷移



こんな変化が

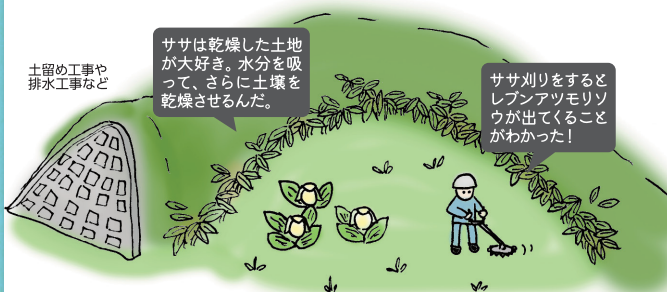


- 1 温暖化による植生変化の加速
- 2 人が燃料用としてのササを刈らなくなった
- 3 土留め工事等による土壌の安定

土壌の乾燥によりササ等が繁茂してきてるよ

人の活動がステップ2に戻す効果を生んでいた!?

現在の礼文島の環境



見守るだけでは守れない

継続的な草刈りなど、人が積極的に環境改善をしなければレブンアツモリソウを守ることができない時代に!

作成／環境省 北海道地方環境事務所 野生生物課
お問い合わせ／☎011-299-1954 (現地に関するお問い合わせ／稚内自然保護官事務所 ☎0162-33-1100)
【関係機関】
林野庁宗谷森林管理署 礼文森林事務所 ☎0163-86-1606
礼文町役場 産業課 ☎0163-86-1001 (代表)



2024.05

みんなで咲かせ

ひとしま

世界に一島だけの花 レブンアツモリソウ



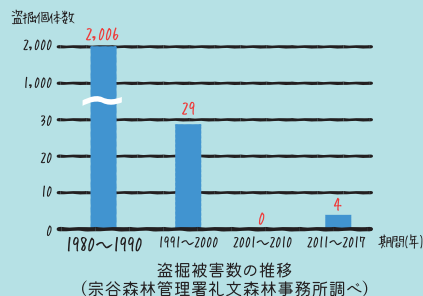
林野庁



礼文町

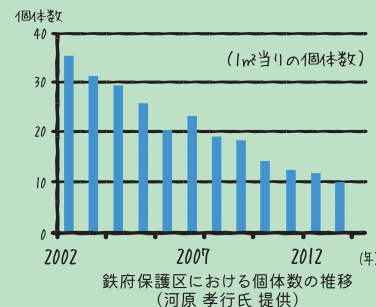
盗掘被害と保護活動

1980年代から、たくさんのレプンアツモリソウが盗掘された結果、島の中のレプンアツモリソウが激減しました。柵の設置、監視カメラや監視員による24時間監視、普及啓発活動など、粘り強い盗掘防止活動の結果、2015年以降に盗掘の被害は確認されていません。今後も盗掘防止の取組を続けていくことが重要です。



環境変化

盗掘の脅威は概ねなくなりましたが、レプンアツモリソウの個体数は減少傾向のままです。温暖化に加え、住民の生活様式の変化によりササや高茎草本が繁茂するようになったなど、島の自然環境がレプンアツモリソウの生育に適さなくなったためと考えられています。

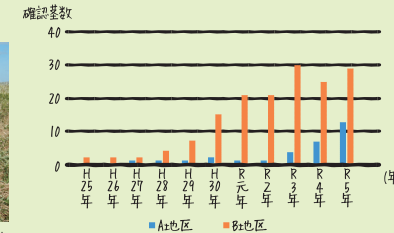


環境改善

ササや高茎草本を刈り払ってレプンアツモリソウの生育に適した環境を人の手で整えることでレプンアツモリソウが増えることがわかりました。

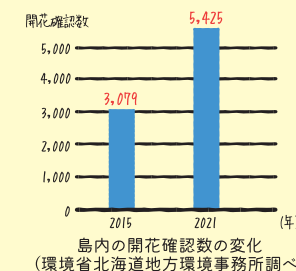


▲鉄府保護区では平成24年から刈払いを実施



保全のこれから

環境改善の成果や新しい自生地の発見により、島内のレプンアツモリソウの開花数は約5,400を確認しました。これからも環境改善と盗掘防止等の取組を続け、その先には人手を借りずともレプンアツモリソウが自然に生きられる環境づくりを目指します。



レプンアツモリソウ花の不思議・種子の不思議

- 花には蜜がなく、同じところに白い花を付けるネムロシオガマに似せてマルハナバチを呼び寄せて花粉を運んでもらっている説もある。
- 花粉運びはニセハイイロマルハナバチ1種に頼っている。
- 花の中は一方通行で、入ったハチは花粉をつけずには出てこれない。
- 種子はとても小さく、菌根菌という共生菌(カビの仲間)がいないと発芽できない。
- 共生菌の1つはハイネズという植物の根に共生している菌。共生菌から他の植物まで相互に関わっていることがわかってきた。
- 数万個ほど種ができるけど、花にまでなるのはごくわずか。



混生の様子



ハイネズ

レプンアツモリソウをはじめとした植物群落の保全MAP

レプンアツモリソウは島の北部と南部に別れて生育しています。特に北部の鉄府地区は大規模生育地となっていて、手軽に見られる場所があったり、関係機関が保全のための取組を進めたりしている場所になっています。

● **レプンアツモリソウ群生地**
北海道の天然記念物に指定されていて、周辺区域を含め島内最大の生育地になっているよ。礼文町の整備で、手軽にレプンアツモリソウが見られる唯一の場所。

● **鉄府保護区**
島内の主要な生育地。今は環境省が主に管理してササ刈り試験などを実施しているよ。

● **船泊保護区**
鉄府同様、環境省が管理。培養株の植え戻し試験も実施。

● **高山植物園高山植物培養センター**
礼文町が設置して、もう40年近くも保全のためにレプンアツモリソウの培養に取組んでいる。敷地内では培養したレプンアツモリソウを見ることができるよ。



島の花を観察するときのルール・マナー

- ❌ 花を採らない
- ❌ 自然歩道のコース外に踏み込まない
- ❌ トイレは決められた場所で

- レプンアツモリソウ生育範囲
- 歩道
- 車道
- 公共トイレ

盗掘など不審な行動を見かけた時の連絡先

- ・香深警察官駐在所 TEL:0163-86-1110
- ・礼文森林事務所 TEL:0163-86-1606
- ・船泊駐在所 TEL:0163-87-2110
- ・礼文町役場(自然環境係) TEL:0163-86-1001

取組の詳細や参考資料はこちら

- ・レプンアツモリソウ保護増殖事業について(ロードマップなど)環境省北海道地方環境事務所HP https://hokkaido.env.go.jp/post_4.html
- ・礼文町リボンプロジェクト 礼文町HP <https://www.town.rebun.hokkaido.jp/hotnews/detail/00000202.html>

- ・レプンアツモリソウ・希少種との共生をめざして 独立行政法人森林総合研究所 https://www.fpri.affrc.go.jp/hkd/research/documents/h25rebunatumorisou_panf.pdf